

ホンデュラス国
テグシガルパ市水供給計画調査
事前調査報告書

平成 11 年 9 月

国 際 協 力 事 業 団

序 文

日本国政府は、ホンデュラス国政府の要請に基づき、同国のテグシガルパ市水供給計画にかか
る調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することといたしました。

当事業団は、本格調査に先立ち、本件調査を円滑かつ効果的に進めるため、平成 11 年 8 月 18 日
より 9 月 9 日までの 23 日間にわたり、当事業団国際協力専門員 大村良樹氏を団長とする事前調
査団(S / W 協議)を現地に派遣しました。

調査団は本件の背景を確認するとともにホンデュラス国政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の
結果を踏まえ、本格調査に関する S / W に署名しました。

本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資
するためのものです。

終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

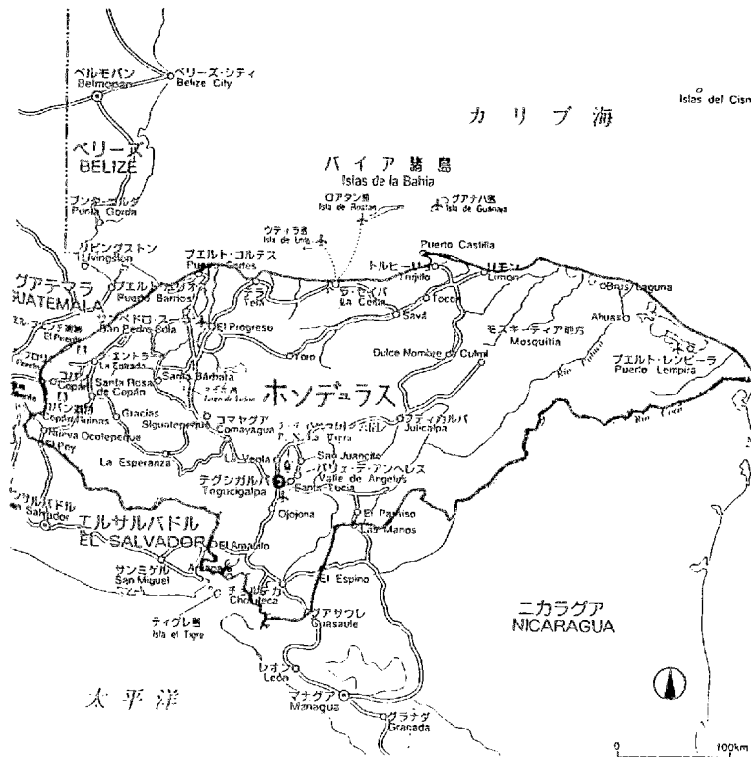
平成 11 年 9 月

国際協力事業団

理事 泉 堅二郎

調査対象プロジェクト位置図

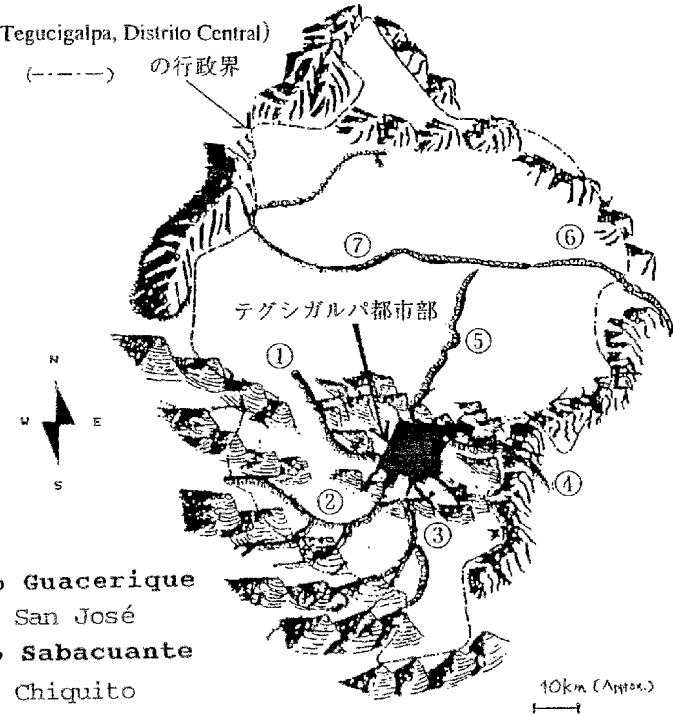
KEY PLAN



<ホンデユラス国全図>

テグシガルパ市 (=Tegucigalpa, Distrito Central)

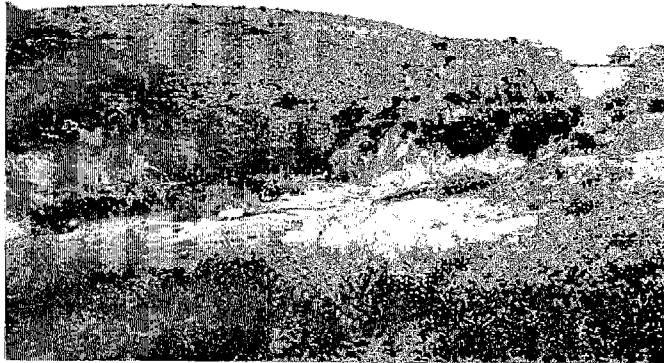
(-----) の行政界



- ① Río Guacerique
- ② Río San José
- ③ Río Sabacuante
- ④ Río Chiquito
- ⑤ Río Grande
- ⑥ Río Cholteca
- ⑦ Río de Hombre

<テグシガルパ市内の主要河川図>

既設水源：Los Laureles

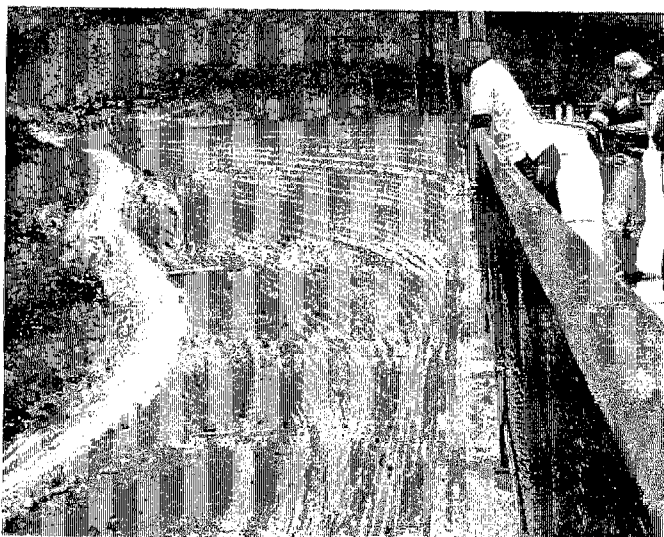


Los Laureles ダムを下流から見たところ。ダム本体は中央コア型のアース・ロックフィルダム。堤体右側の余水吐位置に、貯留容量増加のため、1997 年にラバーダムが施工されている。



Los Laureles ダム貯水池を飛行機から撮影した。貯水池の左側分岐の先に本ダムがある。一方貯水池右分岐部の先に副ダムがあり、ハリケーン・ミッチの際に越流を生じた。ハリケーンにより貯水池内への堆砂も相当生じ、水の濁りもまだ残っている。

既設水源：Concepción ダム



Concepción ダム。高さ60mの重力式コンクリートダムで、1993年に完成した。テグシガルパ市水道の最大の水源となっている。

Concepción ダム



Concepción ダムの天端から貯水池を見る。ハリケーン以来10 か月が経過したが、依然水の濁りは消えない。貯水池内への土砂の流入、移動も相当あった。

既設水源：La Tigra 地区



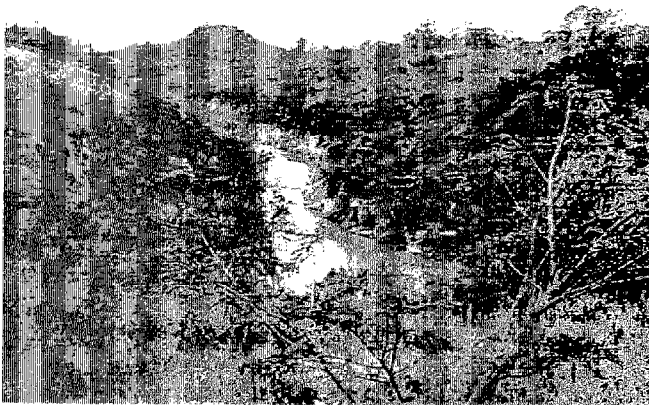
La Tigra 国立公園内の溪流に多数設置された取水堰の1つ (El Carrizar 導水系列)。ハリケーン・ミッチの豪雨により土石流が発生し取水堰・導水管とも至る所で破壊された。現在修復工事がなされている。

将来水源候補：Sabacuante ダム

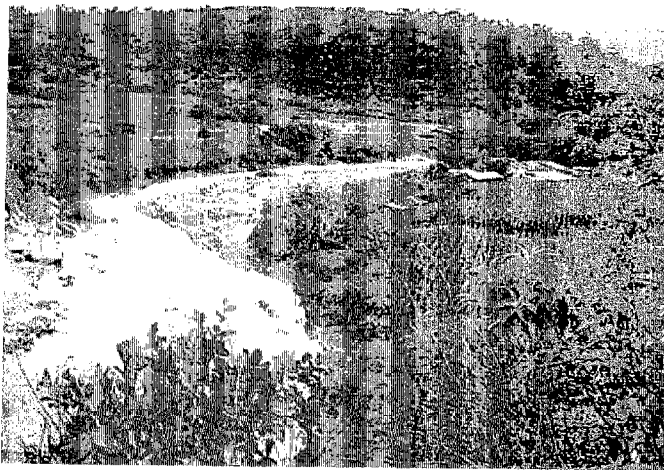


将来水源の候補の1つである Sabacuante 川。流域は全般に植生がよく繁茂し、保水や水質保全の面では良好な条件にある。小規模な既設取水堰があるが、ハリケーンにより導水管とともに被害を受けた。

将来水源候補：Los Laureles II ダム

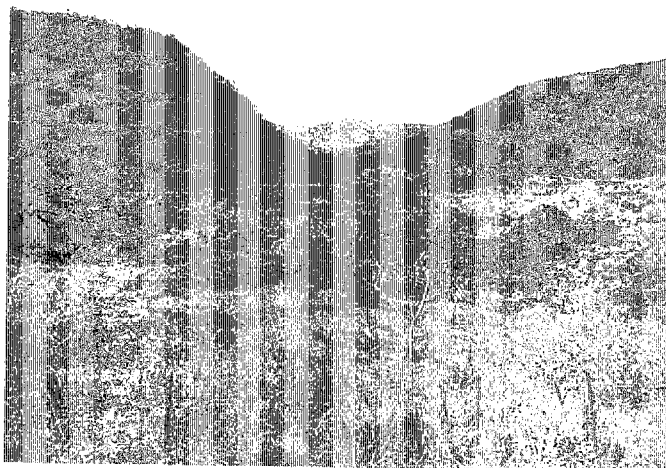


将来ダム候補地点から上流から下流に向かって見たところである。この付近は川幅も狭まり、兩岸傾斜も急となっている。また兩岸傾斜の足元には岩盤が露出している。



ダムサイトから上流側水域を見たところで、川幅がやや広くポケットとなっている。右手（左岸側）の河岸段丘上に数戸の住居や耕作地が見える。これらはダム建設時の移転・補償等の対象となると見られる。

将来水源候補：Quebra Montes ダム



Quebra Montes ダムの候補サイトと下流側から見たところ。右岸に比べて、左岸側の山の傾斜がやや緩い。このダムサイト付近で、左支流の Quebra Montes 川が合流している。

目 次

序 文

調査対象プロジェクト位置図

写 真

第1章 事前調査の概要	1
1 調査の概要	1
1 - 1 調査の背景	1
1 - 2 事前調査の目的	1
1 - 3 事前調査団の構成	2
1 - 4 事前調査の日程	3
2 調査結果	4
2 - 1 調査結果の概要	4
2 - 2 本格調査の範囲等に係る調査結果	4
2 - 3 IDB との協議結果	7
2 - 4 その他の確認事項	8
第2章 現状と課題	9
1 ホンデュラス国の概要	9
1 - 1 自然的条件	9
1 - 2 政治 / 経済 / 社会的条件	11
1 - 3 水資源開発行政の現況	12
1 - 4 環境行政の現況	16
1 - 5 SANAA (上下水道公社) の組織	19
2 給水現況	30
2 - 1 既設導水路及び導水量	30
2 - 2 既設浄水場	33
2 - 3 給水関連基礎データ	47
2 - 4 その他	53
3 テグシガルパ市上水道水源の現状	54
3 - 1 現状水源のまとめ	54
3 - 2 現状水源についての概況	54

3 - 3	将来水源施設の候補地点	58
3 - 4	その他水源開発検討に係る情報	61
3 - 5	調査対象地域の環境予備調査	62
第 3 章 本格調査への提言		66
1	調査の目的	66
2	調査対象地域	66
3	本格調査の重点事項	66
4	本格調査実施上の留意事項	68
5	調査項目	69
6	調査工程	70
7	要員構成	70
8	調査用資機材	70
付属資料		
資料 1	要請書(西文和訳、西文)	73
資料 2	S / W(英文、西文)	107
資料 3	M / M(英文、西文)	121
資料 4	主要面談者リスト	133
資料 5	質問及び回答	137
資料 6	現地再委託業者リスト	155
資料 7	収集資料リスト	167

(通貨換算)1 レンピーラ(Lps)= 約 8.4 円(1999 年 9 月)